

参考資料1 旅費の上昇に関する資料(「旅行・観光消費動向調査」より)

国土交通省観光庁が実施する統計調査で、日本人国内居住者の旅行・観光における消費実態を明らかにするものです。日本人の国内および海外の旅行回数や宿泊数、旅行単価、そして全国の旅行消費額などを把握し、観光行政の基礎資料として活用されます。※同じく観光庁が実施する、宿泊旅行統計調査では金額(単価)は調査項目に含まれないため、今回は参照不可としています。

■旅行・観光消費動向調査における「宿泊旅行」「出張・業務」区分における1人当たり、1回当たりの金額(円/人回)
※「専門職」開業医・弁護士・大学教授・政治家など
※H29以前は区分なし、個人単価もなし

【交通費】

職業	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会社役員	23,806	24,616	29,598	24,538	30,743	24,509	24,963
公務員・団体職員	19,916	19,309	14,850	20,656	23,167	19,842	21,721
専門職	17,084	23,165	14,106	13,311	25,197	18,740	26,424
職業不問	20,730	23,338	12,761	19,923	22,771	21,105	27,317

【宿泊費】

職業	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会社役員	8,419	11,041	9,851	8,964	10,921	23,298	18,193
公務員・団体職員	9,613	9,502	9,781	7,564	8,786	11,614	11,922
専門職	15,035	9,158	5,529	12,384	29,338	17,838	16,083
職業不問	8,691	10,415	11,116	10,288	15,107	12,202	15,279

【交通費+宿泊費】

職業	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会社役員	32,225	35,657	39,449	33,502	41,664	47,807	43,156
公務員・団体職員	29,529	28,811	24,631	28,220	31,953	31,456	33,643
専門職	32,119	32,323	19,635	25,695	54,535	36,578	42,507
職業不問	29,421	33,753	23,877	30,211	37,878	33,307	42,596

■左表について、平成30年を基準(1.00)とした各年における上昇率

【交通費】

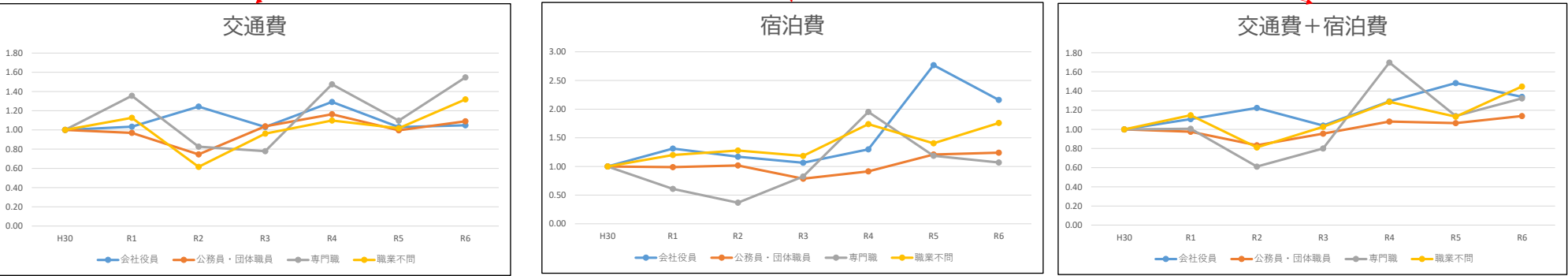
職業	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会社役員	1.00	1.03	1.24	1.03	1.29	1.03	1.05
公務員・団体職員	1.00	0.97	0.75	1.04	1.16	1.00	1.09
専門職	1.00	1.36	0.83	0.78	1.47	1.10	1.55
職業不問	1.00	1.13	0.62	0.96	1.10	1.02	1.32

【宿泊費】

職業	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会社役員	1.00	1.31	1.17	1.06	1.30	2.77	2.16
公務員・団体職員	1.00	0.99	1.02	0.79	0.91	1.21	1.24
専門職	1.00	0.61	0.37	0.82	1.95	1.19	1.07
職業不問	1.00	1.20	1.28	1.18	1.74	1.40	1.76

【交通費+宿泊費】

職業	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会社役員	1.00	1.11	1.22	1.04	1.29	1.48	1.34
公務員・団体職員	1.00	0.98	0.83	0.96	1.08	1.07	1.14
専門職	1.00	1.01	0.61	0.80	1.70	1.14	1.32
職業不問	1.00	1.15	0.81	1.03	1.29	1.13	1.45



交通費および宿泊費は、コロナ禍前の平成30年と比較すると、令和6年は約1.5倍に上昇しています。

○上のグラフは、2018(平成30年)を基準(1.00)とした各年における、職業別の交通費、宿泊費、またこれらを合算した金額の上昇率を示しています。

○新型コロナウイルス感染症対策に伴い、出張含む外出が制限されていた期間、主には2020(令和2年)～2022(令和4)年は全体的に下がっていますが、全体的な傾向としては、上昇しています。

○職業別または費目別にみると上昇率にばらつきがありますが、全体的に上昇しており、「職業不問」かつ費目合算における令和6年は、1.45に上昇しています。